



平成29年度

# 攻めの農林水産業の展開

日本の農林水産業は、従事者の高齢化や減少により危機的な状況とされてきましたが、昨今マーケットインの発想により儲かる農業の実現や世界市場にチャレンジするなどの取組みがみられ、魅力ある産業への転換に向けて明るい兆しが見えてきました。

この研修では、日本の農林水産業の現状と課題を正しく認識したうえで、国の競争力の強化に向けての施策、新しい発想で取り組んでいる官民の事例や最新技術を活用した農業について学ぶとともに、グループ討議を通じて各地域に戻って施策を企画、実施できる力を養います。

## 研修のポイント

- 日本の農林水産業の現状と課題について学びます。
- 農林水産業が、今なぜ「競争力」を求められているかについて学ぶとともに、その潜在力を引き出し、活性化する方法について考えます。
- 農林水産業経営、販路開拓、農業ロボットやICT活用、行政の取組み等全国の事例から、戦略的に農林水産業を活性化していくための様々な手法を学びます。
- 意見交換や課題演習を通じ、戦略的に施策を企画、実施していく力を養います。

## 開催要領

日程

平成29年12月4日(月)～12月7日(木) (4日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

・農林水産業振興、地域産業振興政策に関わる市区町村等職員  
・自治体と協働して農林水産業振興を行う農業協同組合、商工会等の職員  
・自治体と協働して農林水産業振興を行うNPO職員

(NPO職員の場合には、活動内容を受講申込書に記載してください。  
4日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。  
※議員も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください  
(各自治体の現状や施策を基に、討議・発表をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数

40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。  
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

13,050円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食3回、昼食3回、夕食3回)、資料等にかかる費用です。  
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

平成29年10月24日(火)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。  
議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。  
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。  
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<http://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。  
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] [kenshu@jiam.jp](mailto:kenshu@jiam.jp) 【ホームページ】 <http://www.jiam.jp>

平成29年

12月

4日(月)

11:00 ~

**入寮受付・昼食**

12:30 ~

**開講・オリエンテーション**

13:00 ~ 14:10

**講義 日本の農林水産業をもっと強く～競争力強化に向けて～**

農林水産省大臣官房政策課

世界での人口増加、国内での高齢化や人口減少を踏まえ、農林水産業を成長産業化するために必要なことや目指す姿等についてお話しいただきます。

14:25 ~ 17:00

**講義 日本の農業の現状と課題について**

一般財団法人キャノングローバル戦略研究所 研究主幹 山下 一仁 氏

日本の農業の現状、世界の農業情勢を踏まえた日本農業の課題、さらには、これからの日本の農業に求められること等についてお話しいただきます。

17:30 ~

**交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25 ~ 10:35

**事例紹介 農業を儲かる産業へ～ど素人集団の農業革命～**

有限会社トップリバー 代表取締役 嶋崎 秀樹 氏

「儲かる農業」を掲げ、農業の常識を覆すビジネスモデルで黒字経営を続ける農業経営についてご紹介いただきます。

10:50 ~ 12:00

**講義 水産業を稼げる魅力的な産業へ**

東京大学ものづくり経営研究センター 特任研究員

元アサヒビール株式会社 専務取締役 高井 紘一郎 氏

長年製造業に携わられた経験から、低迷する水産業を稼げる魅力的な産業にするために必要なことをお話しいただきます。

13:00 ~ 14:10

**事例紹介 真の林業再生&持続可能な地域開発のカギ、  
地方創生の本丸「自伐型林業」**

～自伐型林業による持続的森林経営の可能性～

NPO法人 土佐の森・救援隊 理事長 中嶋 健造 氏

伐採業(素材生産)が中心の現行林業とは一線を画す自伐型林業。低投資・低コストで利益を確保でき参入が容易、かつ環境保全型で森林を適切に、持続的、永続的に管理、経営することができる林業経営についてご紹介いただきます。

14:25 ~ 15:35

**事例紹介 地産地食で農地を守る仕組みをつくる**

東大阪市経済部農政課 中洲 俊昭 氏

地産地食を仕組み化し、生産者と消費者両方の意識を変えた「ファームマイレージ2運動」についてご紹介いただきます。

15:50 ~ 17:00

**演習 グループ討議**

滋賀大学社会連携研究センター 教授 石井 良一 氏

演習オリエンテーションの後、討議を行います。

17:00 ~

**課外学習**

9:25 ~ 10:35

**事例紹介 農林水産業新ビジネス創造研究会の取組み**

滋賀大学社会連携研究センター 教授 石井 良一 氏

滋賀県農政水産部農業経営課

新しいビジネスを創造するため、産業の枠組みを超え連携を図る「農林水産業新ビジネス創造研究会」の取組みについてご紹介いただきます。

10:50 ~ 12:00

**事例紹介 最新技術を活用した新しい農業**

北海道大学大学院農学研究院 教授 野口 伸 氏

農業就業者の減少や高齢化が続く中、ロボット技術やICT等の先端技術を活用し、省力化、効率化を可能にする新しい農業についてご紹介いただきます。

13:00 ~ 14:10

**事例紹介 グローバルGAPと農業ビジネスの可能性～国際認証最前線～**

株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント 代表取締役 松本 武 氏

農産物の安全管理規格の中で国際標準であるグローバルGAPを認証取得するメリットと今後の農業ビジネスについてご紹介いただきます。

14:25 ~ 17:00

**演習 グループ討議**

滋賀大学社会連携研究センター 教授 石井 良一 氏

グループ討議を行い、発表の準備を行います。

17:00 ~

**課外学習**

9:25 ~ 12:00

**演習 発表・講評・まとめ**

滋賀大学社会連携研究センター 教授 石井 良一 氏

討議結果を発表し、講師からの講評をいただくとともに、課題演習で得た気づき、経験、知識等を受講者全員で共有し、受講者自身が各団体に農業振興のためにどのような行動をとっていくか考えます。

12:00 ~ 12:30

**ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

平成29年

12月

6日(水)

平成29年

12月7日(木)